

# 議会だより

第139号

発行・中井町議会 編集・議会だより編集委員会 住所 〒259-0197 神奈川県足柄上郡中井町比奈窪56 電話 0465-81-3905 FAX 0465-81-1443



## おもな内容

当初予算	2P
条例・規則・補正予算等	6P
提言・審議結果	7P
一般質問（6議員）	9P
県への要望・行政報告	13P
議会のうごき・町民の声	14P
臨時議会・議会の構成	15P

大きな夢が咲きほこる一年生（中村小）

## 3月定例会

Regular meeting in March

# 平成19年度 一般会計 予算総額は 41億4,600万円

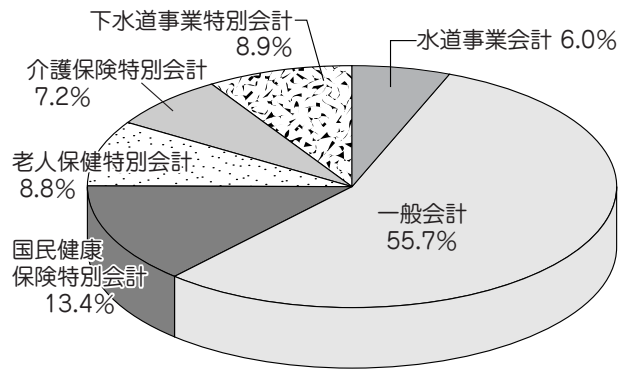
## ★ 歳入の状況

科目	当初予算額	構成比
1. 町 税	千円 2,967,842	% 71.6
2. 地方譲与税	54,000	1.3
3. 利子割金	6,000	0.1
4. 配当割金	4,000	0.1
5. 株式等譲渡所得割交付金	5,000	0.1
6. 地方消費税交付金	145,000	3.5
7. ゴルフ場利用税交付金	39,000	0.9
8. 自動車取得税交付金	58,000	1.4
9. 地方特例交付金	20,000	0.5
10. 地方交付税	40,000	1.0
11. 交通安全対策特別交付金	3,000	0.1
12. 分担金及び負担金	52,298	1.3
13. 使用料及び手数料	59,991	1.4
14. 国庫支出金	87,646	2.1
15. 県支出金	175,557	4.2
16. 財産収入	2,644	0.1
17. 寄附金	1	0.0
18. 繰入金	121,001	2.9
19. 繰越金	100,000	2.4
20. 諸収入	45,020	1.1
21. 町債	160,000	3.9
歳入合計	4,146,000	100.0

## ★ 目的別歳出の状況

科目	当初予算額	構成比
1. 議会費	千円 92,673	% 2.2
2. 総務費	615,464	14.8
3. 民生費	1,191,027	28.7
4. 衛生費	287,051	6.9
5. 農林水産業費	123,160	3.0
6. 商工費	57,741	1.4
7. 土木費	781,888	18.9
8. 消防費	189,902	4.6
9. 教育費	382,125	9.2
10. 災害復旧費	2	0.0
11. 公債費	394,667	9.5
12. 諸支出金	300	0.0
13. 予備費	30,000	0.7
歳出合計	4,146,000	100.0

## 会計別予算割合



## ★ 会計別予算額比較表

会計別	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較 (A-B)	
	千円	千円	千円	%
一般会計	4,146,000	4,012,000	134,000	3.3
国民健康保険特別会計	999,027	903,153	95,874	10.6
老人保健特別会計	654,257	615,718	38,539	6.3
介護保険特別会計	536,163	479,925	56,238	11.7
下水道事業特別会計	665,827	673,503	△ 7,676	△ 1.1
水道事業会計	445,454	445,864	△ 410	△ 0.1
合計	7,446,728	7,130,163	316,565	4.4

## 町長提案説明のあらまし

平成十九年度当初予算並びに関係諸議案を提案するにあたり、予算編成方針と施策の一端を説明します。

本町の財政状況は、歳入面では町税の増収が見込まれるものの、所得譲与税の廃止等により引き続き厳しい状況となっている。歳出面では扶助費などの義務的経費の増加が必至であることから、經常経費の節減・抑制に努め、選択と集中により、予算編成を行なった。

平成十九年度の、一般会計当初予算額は、四十一億四、六〇〇万円、特別会計を含めた総額は、七十四億四、六七二万八千円で、前年度対比四四%の増となっている。

十九年度の重点施策は、第五次中井町総合計画の基本目標を基に「環境・創造元年」と位置付けた。

第一の「環境と共生するまちづくり」では、「環境保全対策推進事業」、「水源環境の保全事業」、「厳島湿生公園周辺散策路整備事業」、「生活排水整備事業」等。

第二の「安心して暮らせるまちづくり」では、「井ノ口保育園舎新築事業」、「子育て支援事業」、「安全で安心な生活環境整備事業」、「高齢者・障害者福祉事業」等。

第三の「豊かな人間性を育むまち」では、「学校教育活動支援事業」、「青少年ふれあい交流事業」等。

第四の「にぎわいと活力のあるまちづくり」では、「ふれあいと交流の里づくり事業」、「公共交通のあり方等調査研究事業」、「生活の利便性と安全性の高い道づくり事業」、「商工振興活性化支援事業」、「農業振興活性化支援事業」、「にぎわいと交流の場づくり事業」等。

第五の「町民一人ひとりが力を発揮するまちづくり」では、「中井誕生一〇〇周年記念事業」、「男女共同参画推進事業」、「広報・広聴活動の充実」、「広域連携・地域間交流事業の推進」等を中心に取り組む。



# 主な質疑・応答

## 当初予算

### 一般会計

### 総務部

**問** 残土搬入に課税できないか。

**答** 法的根拠等も無いので現在は考えていない。

**問** 生活交通維持対策負担金の使途は。

**答** 赤字路線(境)維持負担金の他に、バス交通の対策と研究を行う。

**問** 今後の財政見通しは。

**答** 税源の伸びは見込めないで、企業誘致等で税収を上げる姿勢が必要。

**問** 時間外手当が増えている理由は。

**答** 選挙、権限委譲、新規事業で事務量が増えている。

**問** 水源環境保全再生施策市町村交付金は、水源環境保全と荒れている里山

に使用すべきでは。

**答** まずは、町道関山線のところから進める。



町道関山線付近

**問** 時期を限定して、土日を開庁し、税等の納付相談を実施したらどうか。

**答** 十九年度検討、二十年度を目安に実施したい。

**問** 砂利採取税の使途は。

**答** 道路維持補修、環境、交通安全対策の一部として使用している。

**問** 重点施策に人口対策が無いが。

**答** 毎年問題のため、記

載していない。

**問** 秦野市、二宮町と広域行政連絡会を持った経緯と、今後の進め方は。

**答** 生活圏である一市一町とも、事業を進めていく。

**問** 男女共同参画推進の事業内容と目標は。

**答** 懇話会、啓発誌「ひだまり」の発行以外に、月間を設け、各課での講演会等、参加を呼びかける。

女性の意見が自由に出てくる環境を作ることが先決。

### 民生部

**問** 小児医療費の無料化を中学卒業までにすべきでは。

**答** 当分は小学生まで。

**問** 保健福祉センターの改修内容は。

**答** 二階の身障者用トイレにオストメイトと、おむ

つ交換用の簡易ベッドを設置する。



オストメイト用トイレ

**問** 特別障害者として認定した人たちにタクシー券配布の考えは。

**答** 検討課題としたい。

**問** 消防団詰所の改修工事は耐震工事をやるべき。

**答** 優先度から言えば、まだ先。

**問** 防災訓練の中で移動防災無線がスムーズに通話できなかったが、問題は解決したのか。

**答** 九割は交信可能。

**問** 移動防災無線の届かない一割の地域に、現状を周知しているのか。

**答** 自治会長には話したが、地域住民にも周知していきたい。個別受信機は一〇〇%届く。

**問** 井ノ口保育園建設に当たり、園児数をどう見込んだか。子育て支援センターの開所時期は。

**答** 定員六十名を予定した。子育て支援センターは保育園と同時に二十年四月に開所したい。

**問** 中越大震災ネットワークおぢや協議会の運営は。

**答** 平常時は、情報の共有や研修及び啓発事業等を行い、災害時には職員の派遣が受けられる。

**問** 定率減税の廃止により保育料に影響が出るが、保育料の改定をするのか。

**答** 改定するが、保育料の見直しについては検討する。

**問** AED（自動体外式除細動器）を中央公園、小中学校に設置を。

**答** 検討していきたい。

**問** 一市五町の資源循環型のゴミ処理を目指した準備会が、中断になっているが今後は。

**答** 十九年度から担当課長での検討に入る。

**問** 支援費制度で、障害者の自己負担が大変たとの苦情は聞いていないか。

**答** 実態を把握して、適切に対応していきたい。

**問** 国民保護計画についての考えは。

**答** 有事の際に対応する最小限度の準備をする法律と解釈している。

**経済建設部**

**問** パークゴルフ場の増設の考えは。

**答** 極めて慎重に。



パークゴルフ場

**問** パークゴルフの貸しクラブ使用料をとる考えは。

**答** 検討したい。

**問** パークゴルフ場のゲストハウスの増設の考えは。

**答** 考えていない。

**問** お茶栽培推進で将来的に荒茶工場をどうするか。

**答** 当分の間、山北町の茶業センターで行う。

**問** 畦畔は国のものであり

ながら、崩れた時は地主が直しているが、町はどう考えているか。

**答** 昨年度から地域の要望で資材費を出している。より良い方法を考えていきたい。

**問** 特産物振興補助金の内容は。

**答** 中井町の奨励品種の検討・研修費用。

**問** 中井の水を特産物や地域ブランドにして売り出

す。中井の水を特産物や地域ブランドにして売り出す。

し、町のPRをすることは。

**答** 現在は考えていない。

**問** ふれあいと交流の里づくり事業のウォーキングコースに、才戸交差点から中央公園までの散策路は検討されたか。

**答** 財政的にも、現実問題として無理と考えている。

**問** 公共物に広告を入れて目的外使用料の収益を上げる考えは。

**答** 景観的なものなどを考え実施を見送るが、町のホームページのバナー広告について検討中。

**問** 地籍調査はどのくらい面積が実施されたか。

**答** 一六五haほど整備済み。

**問** 木造住宅の耐震改修補助について検討されたのか。

**答** これまでは検討していない。

**教育委員会**

**問** 中学の教職員全員にパソコンを配備する申請があったのか。

**答** 教育委員会の考えで、教職員の事務の効率化を図るため配備する。

**問** 地域教育力の向上、人権教育と家庭教育の充実に重点的に取り組む内容は。

**答** 家庭教育の充実を考えた講習費用等に盛り込んでいる。

するのかが、五年間据置にしていたが、上げざるを得ない。

**介護保険特別会計**

**問** 介護予防と包括支援センターのかかわり方が、利用者に分からないようだが。

**答** 利用者によく連絡をとりながらやっていく。

**問** 特別障害認定者に五年さかのぼって障害者控除を受けられるよう対応を。

**答** 税務署と協議をする。

**国民健康保険特別会計**

**問** なぜ税率の引き上げを

※バナー広告：インターネットを使った広告の一種

あなたの目と耳で

**議場の  
雰囲気**

次回の定例会は  
6月5日の開会予定です。

だれでも、お気軽にどうぞ！  
役場庁舎3階議会傍聴席入口にて、  
名簿帳に名前を記入するだけです。

出入は自由です。

に  
算  
す  
予  
算  
対

## 反対討論

小沢長男議員

十九年度国家予算案は、定率減税廃止による一七兆円の庶民増税、生活保護の母子加算の段階的廃止、雇用対策費の半減など、貧困問題をいつそう深刻にします。史上空前の利益を上げて

もの成長を見守れるようにし、中学卒業までの医療費の無料化を求めます。

史の上空前の利益を上げて

税が高すぎて、税を納めることができず滞納者が急増している。全国的に国保証を取り上げられ、医療費を

全額負担する資格証明書に変えられた人が、病院に行くお金がないため、受診を控えて死にいたる事件も続

発しています。国民健康保険増税予算ですが、いっそう国保税を払えない町民が増え、さらに深刻な事態になります。今は過酷な国保税を引き下げるときです。

一般会計から繰り入れて増税はやめるべきです。

国民保護マニュアル策定業務は、周辺事態法により、イラクのように無法な、一方的な先制攻撃、侵略戦争であつても、日本が攻撃されなくても、アメリカのする戦争に地方自治体や国民を動員することを明記し、自衛隊が支援参戦すること

にした。国民保護の名の下に、いつでもアメリカの戦争に協力できるように、避難訓練として、町民の防衛訓練を重ね、常に臨戦体制にして、国民を戦争に動員するための危険な計画です。

国民保護の名による米軍への戦争協力計画はやめるべきです。

学校と子どもに成績順の序列をつけ、子ども、学校間に過度の競争とふるいわけを強いる全国学力テストは、世界的に評価されず、見直されています。

このテストは、子どもの心を傷つけ「学校嫌い」をひろげることになり、「すべての子どもに基礎学力を身に付けさせたい」という国民の願いに逆行します。

以上のことから平和と町民の生活・安全・安心を守り、真の教育と喜ばれる町政を求め、平成十九年度一般会計予算案に反対します。

今年度は第五回総合計画の二年目を迎えるにあたり、「環境と共生するまちづくり」を基本理念に、「環境・創造元年」とし、人と自然

が共生できるまちづくりとして、自然環境、水源環境、散策路の整備、公共下水道の整備と循環型社会形成などの事業が継続されています。

次いで少子化が進む中、子育て支援センターの開設準備、小児医療費の助成、学童保育の実施、生活環境では安全監視員の配置、ボランティアによる防犯活動、防災リーダーの育成、高齢者・障害者福祉では予防型介護サービス、障害者の自立を支える取り組み、後期高齢者医療の実施、生活習慣病の予防、健康増進の普及に取り組みされています。



に  
算  
す  
予  
算  
対

## 賛成討論

植木清八議員

平成十九年度一般会計予算案について、賛成の立場から討論させていただきます。

わが国の経済は、企業業績がよくなり、景気回復の兆しが見られますが、都市に比べ地方経済の回復は、まだ微弱なものとなっています。

国では、財政健全化に歳出の削減を実施し、地方においては、税源移譲などで増収が見込まれますが、義務的経費の大幅な増大が見込まれることから、厳しい財政状況となっています。

このような状況の中、中井町の歳入は、税源移譲により町税の増収が見込まれ、前年比三三・三%増となりま

す。歳出では、井ノ口保育園園舎の建設などの投資的経費が増えています。

今年度は第五回総合計画の二年目を迎えるにあたり、「環境と共生するまちづくり」を基本理念に、「環境・創造元年」とし、人と自然

が共生できるまちづくりとして、自然環境、水源環境、散策路の整備、公共下水道の整備と循環型社会形成などの事業が継続されています。

次いで少子化が進む中、子育て支援センターの開設準備、小児医療費の助成、学童保育の実施、生活環境では安全監視員の配置、ボランティアによる防犯活動、防災リーダーの育成、高齢者・障害者福祉では予防型介護サービス、障害者の自立を支える取り組み、後期高齢者医療の実施、生活習慣病の予防、健康増進の普及に取り組みされています。

最後に、十九年度の予算は行政サービスの低下を招かぬよう努力された結果と思われま

す。限られた財源の中で、町政運営の基本方針を目標とした、公平・効率的な予算配分がなされ、努力された故の予算であると確信し、一般会計予算案の賛成討論とします。

この他にも、公共交通の利便性のあり方と研究、地域産業の活力に商品券の利用などの商工振興、お茶栽培、荒廃地防止、畜産環境の保全などに農業振興、都市マスタープランの見直し、高度な土地利用計画の策定に向けて研究を進め、にぎわいと活力のあるまちを目指す施策に期待されます。

中井誕生百周年記念事業など、意見・提案を生かし、また行政の枠を超えた広域な連携、合併問題、そして地方分権化の推進、情報化の健全な発展を図ることに

より、町民と行政が協働し、まちづくりの推進に取り組み、新たな中井町が生まれるように望みます。



# 三月定例会

平成十九年第一回中井町議会定例会を三月六日に開会し、会期を十一日間とし、行政報告を受け、町から条例の制定、一部改正、一般会計他五会計の当初予算、一般会計他三会計の補正予算について提案され、いずれも原案のとおり可決した。

また、人事案件について同意した。

議会では、調査研究活動に必要な政務調査費を交付する条例、委員会出席時の費用弁償を廃止する条例改正、中井町議会会議規則の改正、意見書の提出、健康維持増進やコミュニティ活性化のため、温泉施設や図書館及び集会施設兼体育館の建設を求める提言等五件の議員提案を行い可決した。

一般質問は、六名の議員が八項目にわたり行った。

## 条例・規則・提言

### 議員提案

◎中井町議会政務調査費の交付に関する条例

議会の会派や議員の調査研究活動に必要な経費として、「政務調査費」を交付する。領収書添付を義務付け、収支報告書は公開する。

◎中井町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例及び中井町議会の広報紙の発行に関する条例

の一部を改正する条例

議員が委員会に出席したときの費用弁償を廃止する。

◎中井町議会会議規則の一部を改正する規則

委員会が議案を提出できることとなり、その手続きを規定した。

◎公共施設整備に関する提言

温泉施設と集会施設兼体育館の整備を求めた。  
(関連記事は七ページ)

◎中井町副町長定数条例

地方自治法の改正により、助役に代えて副町長を置き、その定数は条例で定めることから一人とした。

◎地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

地方自治法の改正により、助役に代えて副町長を置き、収入役を廃止し会計管理者を置くことから、関連条例及び引用条項の移動が生じたため、八条例を一括して改正した。

◎中井町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例

例

制度の見直しを行い、支度料を廃止し、食事料の支給範囲を縮小した。

◎中井町国民健康保険税率の一部を改正する条例

地方税法等の改正により、引用条文の変更による改正をした。

◎中井町農村集落センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

岩倉地区農村集落センターを、地域自治会に管理を移管した。

## 補正予算

一般会計補正予算額は、二、三〇万二千円の減額

で平成十八年度一般会計予算の総額は、四十億七、六四八万七千円。

今回可決された一般会計補正予算の歳出の主なもの、次のとおりです。

### 民生費

障害者福祉費では、知的

障害者施設訓練等支援費を一、六三九万八千円、自立支援介護給付費を四五九万三千円減額。

児童福祉費では、小児医療費を五〇万円、保育所運営費委託料を三〇〇万円減額。

国民健康保険特別会計に一、四四九万二千円、介護保険特別会計に二二五万七千円の繰出し金を増額。

衛生費では、基本健診委託料を三〇〇万円減額。

主な質疑

知的障害者施設訓練等支援費等負担金、障害者介護給付費負担金の減額の理由は。

答 平成十七年度単価で試算したが、単価改正と月払いから日払いに改正されたため。

問 基本健診の受診範囲の拡大を。

答 近くの医療機関を利用できるように努力したい。

### 教育費

保健体育総務費の夜間照明施設修繕料では、二八八万円の減額。

### 主な質疑

問 予算に対し残額が多いが、理由は。

答 入札にて安価になった。

## 固定資産評価

### 審査委員に

相原武夫(再任)氏  
大原峽路(再任)氏  
市川政雄(新任)氏

の選任について同意した。

平成十九年三月二十五日をもって固定資産評価審査委員会委員が任期満了になります。相原武夫氏、大原峽路氏は再任、市川政雄氏は新任として同意が求められ、全員賛成で同意した。

# 公共施設整備に関する提言

公共施設整備に関する特別委員会は、審査結果を議会に報告し、議会は、町に次の内容の提言を提出した。

## 現状と課題

少子高齢社会が一段と進展し、団塊の世代のりタイアが見込まれる中、健康つくりやコミュニティ活動の醸成を図るための活動の場となる施設が求められている。

## 施設の場所

ふれあいと交流の里づくり事業との連携による相乗効果が見込まれる中央公園内、又はその隣接地。

## 施設

健康維持・増進と疾病予防、医療費削減のための温泉施設、温泉プールと、文化やスポーツに触れ合うための四〇〇名程度の集会施設兼体育館の複合施設で、地域コミュニティの活性化に寄与する施設。

## 財源及び建設手法

建設にあたり、自主財源及び民間活力の導入により、温泉掘削、施設の建設及び維持管理費のコスト削減を行うべく検討する。

## 建設の時期

早期実現を求める。



## 議案等審議の結果

件名	月日	審議結果	件名	月日	審議結果
障害者地域作業所制度の維持と発展についての意見書の提出を求める陳情について	3月6日	文教民生常任委員会に付託	平成19年度中井町下水道事業特別会計予算	3月16日	原案可決(賛成全員)
行政報告	3月6日		平成19年度中井町水道事業会計予算	3月16日	原案可決(賛成全員)
一般質問	3月6日		中井町固定資産評価審査委員会委員の選任について	3月16日	同意(賛成全員)
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	3月7日	原案可決(賛成全員)	中井町固定資産評価審査委員会委員の選任について	3月16日	同意(賛成全員)
中井町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	3月7日	原案可決(賛成全員)	中井町固定資産評価審査委員会委員の選任について	3月16日	同意(賛成全員)
中井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	3月7日	原案可決(賛成全員)	中井町議会政務調査費の交付に関する条例	3月16日	原案可決(賛成全員)
中井町農村集落センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	3月7日	原案可決(賛成全員)	中井町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例及び中井町議会の広報紙の発行に関する条例の一部を改正する条例	3月16日	原案可決(賛成全員)
平成18年度中井町一般会計補正予算(第5号)	3月7日	原案可決(賛成全員)	中井町議会会議規則の一部を改正する規則	3月16日	原案可決(賛成全員)
平成18年度中井町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	3月7日	原案可決(賛成全員)	文教民生常任委員会審査報告(平成19年陳情第1号)	3月16日	採択
平成18年度中井町介護保険特別会計補正予算(第4号)	3月7日	原案可決(賛成全員)	障害者地域作業所制度の維持と発展を求めることに関する意見書の提出について	3月16日	原案可決(賛成全員)
平成18年度中井町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	3月7日	原案可決(賛成全員)	公共施設整備に関する特別委員会審査報告	3月16日	報告
中井町副町長定数条例	3月16日	原案可決(賛成全員)	公共施設整備についての提言の提出について	3月16日	原案可決(賛成多数)
平成19年度中井町一般会計予算	3月16日	原案可決(起立多数)	議員・委員派遣の件について	3月16日	承認
平成19年度中井町国民健康保険特別会計予算	3月16日	原案可決(賛成多数)	議員・委員派遣結果報告について	3月16日	報告
平成19年度中井町老人保健特別会計予算	3月16日	原案可決(賛成全員)	議会運営に関する事項	3月16日	議会運営委員会閉会中の継続審査
平成19年度中井町介護保険特別会計予算	3月16日	原案可決(賛成全員)			

# 公共施設整備についての提言の提出について

## 反対討論

小沢長男議員

事です、現況では他市町との相互利用を望みます。

## 賛成討論

古宮一広議員

この提言の基本となりま

議会が求める、温泉プール、温泉施設、四〇〇名程度を収容できる集会施設兼バスケット二面程度の体育館および図書館の早期建設は、私も喉から手が出るほど望んでいます。しかし、三位一体の改革により、町民税の増税で町への税源移譲が図られました。町からの所得譲与税の廃止、地方特例交付金・地方交付金の削減など、一般財源化で国・県の負担を減らして、町への負担責任が課せられるなど、町財政は切迫しています。地方・国民に更なる負担をさせ、富を財界・大企業・国に集中する政治が続くならば、さらに地方自治体は厳しくなります。

確かに公民館の利用状況を把握し、施設が不足するならば、農村改善センター、児童館、自治会館などを使用も考え、時間をかけて行政側と真剣に財政面を検討すべきです。

中井町でも福祉や町づくりなど住民ニーズは多様化しており、人口の減少、少子高齢化の進展など社会経済状況は一段と厳しさを増しております。

習活動の一環で、当町でも読書の日を設けるなど、読書活動の充実を政策に位置づけておりますが、拠点となります図書館もありません。

この数年、町税収入も三十億前後であります。財政調整基金などの、基金残高は九億二千五百万と減少していますが、一般会計の町債残高は、十九年度末の見込みでは二十六億五千四百万と確実に減少しております。

町はこの財政状況の中で、国民健康保険税の増税をします。介護保険料や利用料の先の値上げも心配されます。また、二十年度からの後期高齢者医療保険の負担も加えられます。そういう負担増の心配のうえに退職者は年金生活に入り収入が減り、利益追求を第一とする財界・大企業のいいなりの労働法制改悪により、非正規雇用の労働者が急増し、ワーキングプアが激増して、暮らしの破壊が進み、多くの若者にその影響が出ています。生活が安定しない若者たちと老後の年金暮らしの者が借金を返済することに

なる。夕張市のように町財政が町民生活を支える力を失ってからは遅いです。基本的には町民生活が大

議案が提案するPFI事業は、事業者の資金で建物を建て維持・管理・運営を事業者任せ、長期の契約で町の支払いが長期固定化するの、町が借金をして建物を建て長期にわたり、元利返還しながら町が施設の維持・管理・運営をするかの違いで、いずれにしても、町の財政は厳しくなる。財政が硬直してしまっ

た。生涯学習施設の拠点となる井ノ口公民館や改善センター等は、多方面にわたり利用され、新たな団体利用などできない状態にあります。各施設においての収容規模は十分とは言えず、新規施設を要する根拠となっております。

また公共施設の耐震化や、砂口南が丘線、境幹線、公共下水道など財源に占める大きな事業はほぼ完了しており、将来の財政負担は軽減するものと推察するものです。

今、一般会計と下水道会計を合わせて、毎年六億円以上の借金返済があります。議会が望む施設の財政投資により、さらに、借金の返済がかさみ、町民が生活していくうえでの諸施策に支障をきたします。ランニン

次期議会に委ねて十分議論すべきです。以上のことから今の状況のなかでは議会の提言に反対します。

「公共施設整備に関する特別委員会」では、各公共施設の利用状況や財政状況、財政推計、住民要望など調査研究を進めてきました。

高齢化社会が一段と進む中、健康の維持・増進、疾病予防、介護予防は町の最重要課題であります。国民健康保険・老人保健・介護保険の財政はますます増加の傾向にあり、これらの費用の抑制には、健康の増進や、介護予防を主目的とした複合施設の設置が求められます。

少子高齢化社会や福祉社会の変化への対応、持続可能な町づくりに向けて、本提言がきっかけになることを希望し賛成討論とします。

また、教育活動・生涯学

複合施設にあつては、民間活力を利用した整備手法での温泉掘削や施設運営とし、中央公園または隣接地に設置できれば、中央公園

また、教育活動・生涯学

また、教育活動・生涯学

また、教育活動・生涯学



# 一般質問

三月議会

質問者本人が  
原稿を作成し  
ています。

## 要介護認定者に負担の軽減を

小沢長男議員



問

全国的には要介護四、五の人は特別障害者、その他を一般障害者として認定しています。幾度が議会で取り上げているが、一向に進

んでいないのはなぜか。

同居老親等七十歳以上の扶養控除、所得税五十八万円、住民税四十五万円と比べ、七十歳以上のものが特別障害者に認定されると所得税で七十五万円、住民税で五十三万円が新たに控除されます。

介護保険料の大幅な引き上げ、公的年金控除の縮小、

町長

### 方針を切り替えて

五年さかのぼって、税金が五十万円戻った人もいる。障害者タクシース券も障害者認定をされた人に発行するようにし、介護タクシース利用にも使えるようにすることを求めます。

施設利用者の送迎車



老年者控除・定率減税の廃止などにより老齢者への攻撃が強まり、世帯全体への増税攻勢の中で、要介護認定者を扶養している世帯の負担を軽くするように町は努めるべきではないか。

おしらせ版等で制度のPRをして、介護保険の更新申請時に説明してきたが、確定申告時期でない時期の説明であり、また、ケアマネジャーや施設の代行申請または、郵送等による申請も多く、理解されていないこともある。方針を切り替えて今回は、確定申告等の時期に合わせて介護認定者全員に障害者認定についての通知をした。

## ダンプ公害の撲滅を

小沢長男議員

問

ほこり、騒音、振動の被害は、もう我慢の限界です。この先五十年以上も、被害が続くと思うと、次の世代は住まなくなります。沈殿槽を設けて水を循環させ、大量の水で完全に泥を落として道路に出るようすすべきです。やまゆりラインの土砂が町民の住む道路に流れ込まないように道路を整備する。土砂を落とさないこと、道路清掃車で清掃を徹底する。必要最小限の散水を行う。制限速度の完全厳守を図る。町が道路を常に整備して振動騒音が起らない管理を行う。



求められる対策

町長

### 指導の徹底を

大久保自治会、関係事業者、西湘グラベルの方と、

これらを確実に実施してダンプ公害の撲滅を、公害を無くすまで対策を考え、住める環境を整えるのが行政の務めでは。

少しでも改善が図られるよう意見交換を含めた協議の機会を設けたところ、道路の散水において、回数を増やして洗浄方法も検討する。道路清掃の回数を週二回以上になるように努力する。

二十km走行の厳守の指導を行っていく。年二回以上の意見協議会を設けていくことを確認した。ダンプ車両による振動や砂ほこりなどから、町民の快適な生活環境を守るため砂利採取指導要綱に沿った指導の徹底や諸課題等の解決に向け対策をとる。

# 認定子ども園には問題が

小沢長男議員

問

全国的に保育時間の延長や長期休暇中も保育が実施され、乳児や三歳未満児を預かる保育所を併設する私立幼稚園もあり、病気中・病気後の保育も必要です。親の二丁ズの多様化の中で安心して子どもが育てられる施策、保育内容の充実を求めます。

他の議員から井ノ口保育園と幼稚園を「認定子ども園」にすることを求める質問があり、町は検討を約束しましたが、全国的な取り組みのようにすれば「認定子ども園」にしなくてもよいのでは。

保育園は調理施設設置を義務付けられているが、「認定子ども園」は、三歳以上の子どもについては給食の外部搬入を認めたため、アレルギーなどの細かい対応ができなくなる。

また、入所が親との直接契約であり、保育料を施設側が自由に決めることがで

きるため、保育料が払えるかどうかが入所の基準になる。

## 町長 導入の考えはない

職員配置基準が幼稚園の学級編成の学級単位三十五人以下の構成では、保育の安全が確保できない。認定

するべきではない。

保育園では、就学前の子どもへの教育、保育に対する二丁ズに対応して喜ばれている。今後も保育二丁ズに対応した保育の充実に努めていく。

「認定子ども園」の導入の考えは、今のところない。



求められる保育の充実

# まちの将来は

加藤正人議員

問



「第四次総合計画」では、

人口一万五千人を想定したが、行政側の力不足のため計画倒れになり、また「第五次総合計画」でも、人口一万二千人を想定しており、今回の「第六回線引き見直し」が大変重要と思います。

①第五回線引きの反省点と、第六回線引きにどう取り組むか。  
②市町村合併は、どの方向に向くのか。  
③町長が考える町の将来像とは。

## 町長 快適な居住環境を

①南部地区・比奈窪・藤沢地区は、多方面から事業化に向けた取り組みの検討を行ったが、事業化が可能な



秦野市に通ずる砂口南が丘線

いま現在に至っている。

第八回の見直しでは、南部地区は引き続き特定保留地区に位置づけることを必須条件に考えている。比奈窪・藤沢地区は、中心市街地の形成には重要な地区であることに変わりはなく、新たな取り組みの検討。

②生活圏や業務圏も視野に入れ、新たな都市像やまちの将来を展望した中で、方向性を検討する。

③利便性と快適性の高い住環境整備の充実と、財政基盤の確立が重要。

議会からの提言内容についても真摯に受け止め、職住・遊のバランスの取れた安心して快適に暮らせる居住環境の整備に努め、人口増につなげる「まちづくり」に取り組んでいく。



# 環境の取り組みは町民と共に

小清水招男 議員



## 町長 充実を図る

第五次中井町総合計画の、基本目標は「環境と共生するまち」です。

平成十八年十二月定例会で、この後ろ盾となります町環境基本条例を制定し、来年度行動指針となる環境基本計画の策定に着手することになっていきます。

そこでお尋ねします。

①環境基本条例の理念などを定着させるための町民へのアピール施策。

②事業者、行政、町民の環境保全対策に対する環境教育・学習の取り組み。

③環境基本計画に取り込む施策は、今後どのようにPDCAを進められるか。

自律的・自主的な地域環境保全活動の推進が、底辺の活動として欠かせません。町長のお考えは。

町内事業所の環境対策を把握し、環境教育と学習機会の充実を図る。

総合計画では、環境と共生し、将来も持続可能な町の発展を目指していくため、町民、事業者、行政が協働した取り組みを提唱しています。

①アピール施策を、懇話会や環境審議会などの意見を受け、検討したい。  
②体験的環境学習の推進と、構築に努力する。



アピール施策の一環

# 緊急車両が通れる道路整備を

武井一夫 議員



## 問

一刻を争う火災や救急時、緊急自動車スムーズに現場に到着するためには、安全に通行できる道路でなくてはなりません。

そこで町内各地の生活道路に目を向けて見ますと、昔ながらの狭い道、路肩が弱い道、路面が悪い道、角がきつく曲がれない道などが多く点在しています。

もしも、これ等の道路状況が原因で現場への到着が遅れて、手当ての遅れや搬送の遅れが生じたとしたら、最悪の事態を招くことは誰もが承知の通りです。

危険を未然に回避させると共に、大切な命を守るためにも、町内各地の生活道路の再点検・整備が急務です。



整備が待たれる下庭線（鴨沢）

## 町長 改善・整備に努力

各自治会より毎年年度初めに自治会長会議や、生活環境委員会において要望の申請を上げて頂き、現地を見、優先順位の中で出来るだけ早い時期に対応して行きます。

指摘された箇所につきましてはこれからも順次、狭隘な道路の拡張事業に精力的に進めて行きます。

また、町道下庭線においては、堤防敷きを町道として使っている事もあり、県ともよく協議し、今年度は待避所を多く整備しながら、当面は通行できる体制づくりで取り組みます。

今後、道路管理者自らのパトロールや情報の提供などを活用して、生活道路の維持・改善・整備に努め、町の重点施策の中で取り組みます。

# 生活道路整備計画は 古宮一広議員



問

住民が安全で安心な生活道路整備は行政の責務です。幹線街道の整備は進みま

したが、生活道路の整備は遅れています。特に生活道路整備は生活の基本であり、計画的に進める事が重要で

す。現状は道路法と建築基準法では不整合な解釈があり、現状の建築確認制度で移行すると、道路改良は進まず将来のまちづくりに多大な支障となる。狭隘な道路を解消し、災害に強い街づくりに向け計画的整備が必要で、最近、生活道路での交通事故も増加傾向にあり、速度規制や交通標識の整備も必要では。

## 町長 道路整備を推進

町では道路環境整備を推進しており、第五次総合計



未整備の中村川沿い（北田）

画でも施策を掲げています。道路法に定める道路と建築基準法に定める道路には不整合があるのも事実で、道路法にかかわる道路台帳の整備は、町が行っており、建築基準法第四十二条に関する道路は、松田土木事務所が行っております。これに関する台帳整備は進んでいないようです。

また、生活道路の整備基準及び狭隘道路の整備等も含め、道路交通整備計画等もありません。しかし、今後の道路整備は、最低四m以上と認識しており、昨今の道路事情や利用形態、利便性を考慮すると、四五m以上の幅員は必要です。今後は交通規制も視野に、生活道路の整備を進めます。

# 木梨山古墳進入路の整備を 岸野照男議員



問

藤沢自治会内にある木梨山古墳に至る進入路は生活道路であるが、道幅が狭い上、排水路にはふたもなく、利用する人たちにとっては不安な日常である。四年程前の話では、地域からの要望があがっていないとのことでした。

町が初めて現地を見た昨年の話でも、相変わらず地域からの要望をあげてもらったとのこと。住民が安心して暮らせる町づくりを掲げている中で、危険を認識しているのなら、地域からの要望待ちではなく、町が積極的に働きかけてやるべきだが、町の考えを伺います。

## 町長 自治会から要望を

町では道路環境整備を推進しており、第五次総合計



藤沢木梨山古墳進入路

御指摘の道路については、町道認定されていない地域の生活道路で、本線においてはコンクリート舗装が施工されており、一部は素掘りの側溝があるものの日常生活では、概ね支障をきたす状況ではないとの報告を受けております。

しかしながら、側溝の整備を行うことで、より生活の利便性の向上も図られる

と考えられますので、地域の自治会長や関係者とも協議させていただき、状況を見極めながら、必要な整備方法や時期等について対処することが適切と思われる。個人要望もありませんが、できれば自治会からそういう要望を出していただくということが一番妥当ではないかと思えます。



# 県への 要望

## 障害者地域作業所制度の維持と発展を求めること に関する意見書

神奈川県は、ノーマライゼーションの推進を基本理念とし、障害のある人も住み  
なれた地域で自立し、社会参加するという地域福祉を重視したさまざまな施策を展  
開してきた。

その中でも、昭和52年に県の主導により全国に先駆けて創設され、町と協同のもとに実施されてきた  
障害者地域作業所制度は、地域における障害福祉を担う拠点となり、いまや重要な社会資源の一つとし  
てなくてはならない存在となっている。

こうした状況の中、昨年4月に障害者自立支援法が施行されたことに伴い、障害者地域作業所につい  
ては、いわゆる小規模作業所の法定施設化に向けた新しい事業体系の一つとして、地域活動支援センター  
などへの移行が示されている。

しかしながら、障害者地域作業所のほとんどが直ちに法定施設へ移行することが困難であるだけでな  
く、これまでその運営基盤の大部分を県及び町からの財政的支援に依存してきており、仮にこの支援の  
打ち切りや削減が実施された場合には、障害者地域作業所の存続にかかわる重大な問題であり、ひいて  
は現行の利用者が通所する場を失うことにもなりかねないのである。

よって、神奈川県におかれては、障害者地域作業所が障害のある人の自立的な生活を支援する役割を  
果たしていることを踏まえ、障害者地域作業所制度の維持と発展を図るため、今後も引き続き支援を行  
うよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年3月16日

神奈川県知事 松沢 成文 様

神奈川県足柄上郡中井町議会

# 行政報告

行政の取り組みとその成  
果の報告。

### 総務部

平成二十年度に「中井」  
が誕生してから一〇〇周年  
が誕生してから一〇〇周年  
町制施行五十周年を迎える  
ため、「中井誕生一〇〇周  
年記念事業実行委員会」を  
設置した。

県西地域の二市八町で、  
「県西地域合併検討会」を  
設立した。同検討会は合併  
の方向性を検討する。

民生部  
半分形地内に四十トンの  
耐震性防火水槽を年度内完  
成目指し作業を進めている。  
中井町国民保護計画策定  
は、先月協議会を開催し、  
答申を受けたので、現在県  
と正式協議中。

井ノ口保育園園舎新築の、  
建物等の実施設計と埋蔵文  
化財発掘調査業務が完了し、  
建設準備が整った。  
中井保育園の、耐震補強  
と外壁等改修工事がすべて  
完了した。

### 経済建設部

「町道砂〇南が丘線」が三  
月二十八日に供用開始する。  
なる配水管の布設替工事を  
実施した他、飲料水の安定  
供給のために宮原取水場ポ  
ンプ取替工事や五所ノ宮導  
水管布設替工事に着手した。

### 教育委員会

小・中学校が取り組んで  
いる「いじめをなくそう」  
という標語を庁舎等に掲示  
し、いじめ根絶の啓発を図つ  
た。また、アンケート結果を  
取りまとめた特集号の各家  
庭への配布や、中学生議会  
で採択された「いじめ撲滅  
緊急アピール」の掲示板へ  
の掲載など、学校・地域が  
連携して、いじめ対策に取  
り組んでいただいています。

井ノ口坂本地区雨水幹線  
工事第一期工事が完了し、  
井ノ口宮原地区内を中心に  
整備を進めた汚水枝線工事  
がほぼ完了した。十八年度  
末には、二〇六、四haの面  
積が完了する。

下水道事業  
一月末、中井町の児童十  
六名が戸沢村に冬期交流と  
して訪問してきました。児  
童たちは雪国ならではのス  
キーなどの体験をしたり、  
夜は各家庭にホームステイ  
し、家族となごやかな団ら  
んを楽しむなど戸沢村の自  
然を満喫してきた。

下水道汚水枝線工事や町  
水道事業

井ノ口宮原地区内を中心に  
整備を進めた汚水枝線工事  
がほぼ完了した。十八年度  
末には、二〇六、四haの面  
積が完了する。

\*\*\*\*\* 議会のひびき \*\*\*\*\*

二月

- 1日 公共施設整備に関する特別委員会
- 2日 社会福祉関係団体賀詞交歓会
- 3日 あしがら広域圏ネットワーク小学生酒匂川駅伝競走大会
- 6日 足柄消防組合総合訓練
- 7日 足柄上郡議会議員研修会
- 8日 神奈川県町村議会議長会定期総会及び自治功労者表彰式
- 15日 かながわ駅伝競走大会結団式
- 19日 議会全員協議会
- 20日 足柄上衛生組合議会
- 22日 あしがらブロック会議
- 23日 監査委員研修会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 足柄上郡福祉会理事会
- 1日 老人クラブ連合会パークゴルフ大会
- 4日 中井町健康マラソン大会
- 6日 平成19年第1回中井町議会定例会1日目
- 7日 平成19年第1回中井町議会定例会2日目
- 29日 公共施設整備に関する特別委員会
- 8日 文教民生常任委員会
- 9日 平成19年度予算説明会
- 11日 中井中学校卒業式
- 12日 井ノ口公民館まつり
- 14日 平成19年第1回中井町議会定例会3日目
- 16日 平成19年第1回中井町議会定例会4日目
- 19日 子ども会育成指導者連絡協議会総会
- 20日 井ノ口幼稚園卒園式
- 24日 議会運営委員会
- 26日 平成19年第1回中井町議会定例会5日目
- 27日 中井誕生100周年記念事業実行委員会
- 28日 中村小学校卒業式
- 29日 井ノ口小学校卒業式
- 20日 中村保育園卒園式
- 24日 井ノ口保育園卒園式
- 26日 ソフトボール協会定期評議員会
- 27日 足柄消防組合議会
- 28日 ボランティア連絡協議会
- 29日 20周年記念式典
- 27日 広域行政協議会
- 28日 砂ノ南が丘線開通式
- 26日 足柄東部清掃組合議会
- 27日 農産物直売所「里やま直売所」管理運営組合設立総会
- 29日 都市計画審議会

三月

- 1日 消防団分団長の任免式
- 5日 井ノ口小学校入学式
- 6日 中井中学校入学式
- 7日 井ノ口幼稚園入園式
- 10日 議会全員協議会
- 11日 神奈川県町村議会議長会役員会
- 14日 議会たより編集委員会
- 19日 上郡議長会定例議長会
- 23日 足柄上衛生組合出納検査体育協会総会
- 24日 文化団体連絡協議会総会
- 25日 議会たより編集委員会
- 27日 遺族会総会
- 28日 秀峰会総会
- 1日 消防団分団長の任免式
- 5日 井ノ口小学校入学式
- 6日 中井中学校入学式
- 7日 井ノ口幼稚園入園式
- 10日 議会全員協議会
- 11日 神奈川県町村議会議長会役員会
- 14日 議会たより編集委員会
- 19日 上郡議長会定例議長会
- 23日 足柄上衛生組合出納検査体育協会総会
- 24日 文化団体連絡協議会総会
- 25日 議会たより編集委員会
- 27日 遺族会総会
- 28日 秀峰会総会

四月

- 1日 消防団分団長の任免式
- 5日 井ノ口小学校入学式
- 6日 中井中学校入学式
- 7日 井ノ口幼稚園入園式
- 10日 議会全員協議会
- 11日 神奈川県町村議会議長会役員会
- 14日 議会たより編集委員会
- 19日 上郡議長会定例議長会
- 23日 足柄上衛生組合出納検査体育協会総会
- 24日 文化団体連絡協議会総会
- 25日 議会たより編集委員会
- 27日 遺族会総会
- 28日 秀峰会総会

町民の声

中井町議会を初めて傍聴して、多分の広報では知らせていると思いが、ずいぶん知らない話が多くびっくりしました。町の税金の使われ方、全体的話は分からないが討論の内容だけ傍聴席で聞いている限りでは、国の不祥事のような無駄なお金の使い方をしてるような感じがしました。

議員の人からの厳しい質問も多くこんな緊張感をもって議会が開催されている事に感動しました。町民の傍聴人が多くなるように町民の意識も変わっていかなくてはならないと思いました。中井町の世帯数が増えているのに、人口が減っているという事実も知り何か具体的な対策とかの話はなく残念でした。

井上正美(北窪)

編集後記

樹々の若葉が目にしみるようなこの頃ですが、私共(第一五期生)の編集員の最終号(一三九号)となりました。議会も新しい体制(第十六期生)になりましたが、本年は、地方自治法(議会制度)が制定され、六〇年という記念すべき年になります。しかしながら今、議会を取り巻く環境は大きく変わり、住民自治の合議体である「議会」が自主性・自立性を発揮してはじめて「地方自治の本旨」は実現するものであり、時代の趨勢に対応した議会改革

なくして地方分権改革は完結しないと考えます。最後に、議会たよりの制作に当たり、町民の皆様にご協力を頂きましたことに、編集委員一同心より御礼申し上げます。

議会たより編集委員会

- 委員長 杉山祐一
- 副委員長 加藤義英
- 委員 岸野照男
- 委員 加藤正人
- 委員 小沢長男
- 問い合わせ 議会事務局(☎八一一三九〇五)





\*\*\*\*\*  
**第一回臨時議会**  
 \*\*\*\*\*

平成十九年第一回中井町議会臨時会が、五月八日午前十時に招集され、会期を一日限りと定め、議長、副議長の選出、各常任委員会委員の選任、議会選出の一部事務組合議員の選任等を行い、監査委員の選任を行い閉会した。

また、条例、規約に基づく各種の議会選出委員は、全員協議会で選出された。

**議会の構成**

(委員会の構成は、次のようになりました。)

**総務経済常任委員会**

- 委員長 岸野照男
- 副委員長 加藤義英
- 委員 森丈嘉
- 委員 武井夫
- 委員 尾上孝
- 委員 成川保美
- 委員 相原啓一

**議会運営委員会**

- 委員長 相原啓一
- 副委員長 植木清八
- 委員 小清水招男
- 委員 岸野照男
- 委員 杉山祐一
- 委員 加藤義英

**文教民生常任委員会**

- 委員長 杉山祐一
- 副委員長 植木清八
- 委員 原憲三
- 委員 岸光男
- 委員 小清水招男
- 委員 古宮一広
- 委員 小沢長男

**議会だより編集委員会**

- 委員長 植木清八
- 副委員長 原憲三
- 委員 森丈嘉
- 委員 岸光男
- 委員 小沢長男

**中井町議会選出  
一部事務組合議員等**

◎ 足柄消防組合

- 武井一夫
- 岸野照男

◎ 足柄上衛生組合

- 武井一夫
- 小清水招男

◎ 足柄東部清掃組合

- 武井一夫
- 小清水招男
- 杉山祐一

◎ 監査委員

- 古宮一広

◎ 農業委員会委員

- 森丈嘉
- 小沢長男

**各種審議会  
協議会等の委員**

◎ 足柄上地区広域行政協議会

- 武井一夫
- 小清水招男

◎ 総合計画審議会

- 武井一夫
- 小清水招男

◎ 都市計画審議会

- 武井一夫
- 古宮一広

◎ 国民健康保険運営協議会

- 尾上孝
- 植木清八

◎ 青少年問題協議会

- 森丈嘉

◎ 民生委員推せん会

- 杉山祐一

◎ 社会福祉協議会

- 理事 成川保美
- 監事 加藤義英

◎ 生涯学習推進協議会

- 原憲三
- 杉山祐一

◎ 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会

- 成川保美

◎ 環境審議会

- 岸光男

**正・副議長選挙の結果**

◎ 議長選挙

- 武井一夫 十二票
- 小沢長男 一票

◎ 副議長選挙

- 小清水招男 十一票
- 成川保美 一票
- 無効票 一票

# 第16期

# 第1回臨時議会

# 新議員紹介

議長に武井一夫議員  
副議長には小清水招男議員選出



⑫ 相原啓一 58歳 無所属 (3)



⑬ 植木清八 58歳 無所属 (3)



⑭ 古宮一広 65歳 無所属 (5)



⑮ 小沢長男 64歳 日本共産党 (8)

議長



⑧ 加藤義英 67歳 無所属 (2)



⑨ 武井一夫 63歳 無所属 (2)



⑩ 尾上孝 60歳 無所属 (3)



⑪ 成川保美 59歳 無所属 (3)

副議長



① 森丈嘉 53歳 無所属 (1)



② 原憲三 58歳 無所属 (1)



③ 岸光男 59歳 無所属 (1)



⑤ 小清水招男 61歳 無所属 (2)



⑥ 岸野照男 65歳 無所属 (2)



⑦ 杉山祐一 52歳 無所属 (2)

(○の数字は議員議席番号、( )の数字は当選回数、年齢は5月1日現在)

## 就任のあいさつ

### 議長 武井一夫

この度の臨時議会において議員各位のご推挙により、議長という大役をお引き受けする事となりました。身に余る光栄と共に、責務の重大さに身の引き締まる思いです。現在、町の人口は減少傾向に歯止めがかからず、一人を割ろうとしています。そのような中、市町村合併は避けては通れぬ問題であり、また、地方自治体に課せられた諸問題、特に財

政基盤の整備など議会の果たす役割は大変に重要であります。町の将来を見据え、町民の要望と議員各位の意見を尊重し、行政と一丸となつて取組むことが肝要かと思

今後は公平・公正な立場に立つて議会運営に努めてまいりますので、より一層のご支援、ご協力をお願いし就任の挨拶と致します。

### 副議長 小清水招男

このたびの臨時議会におきまして、議員各位のご推挙を頂き副議長の要職につくことになりました。議長を支え補佐することは当然の事でございますが、地方分権が進展する中、中井町の将来を見据えて、町民皆様のニーズを最優先に知恵を出し、汗を流したいと考えております。

微力ではございますが、副議長として邁進したいと考えております。今後も議会に対する一層のご指導をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

このたびの臨時議会におきまして、議員各位のご推挙を頂き副議長の要職につくことになりました。議長を支え補佐することは当然の事でございますが、地方分権が進展する中、中井町の将来を見据えて、町民皆様のニーズを最優先に知恵を出し、汗を流したいと考えております。